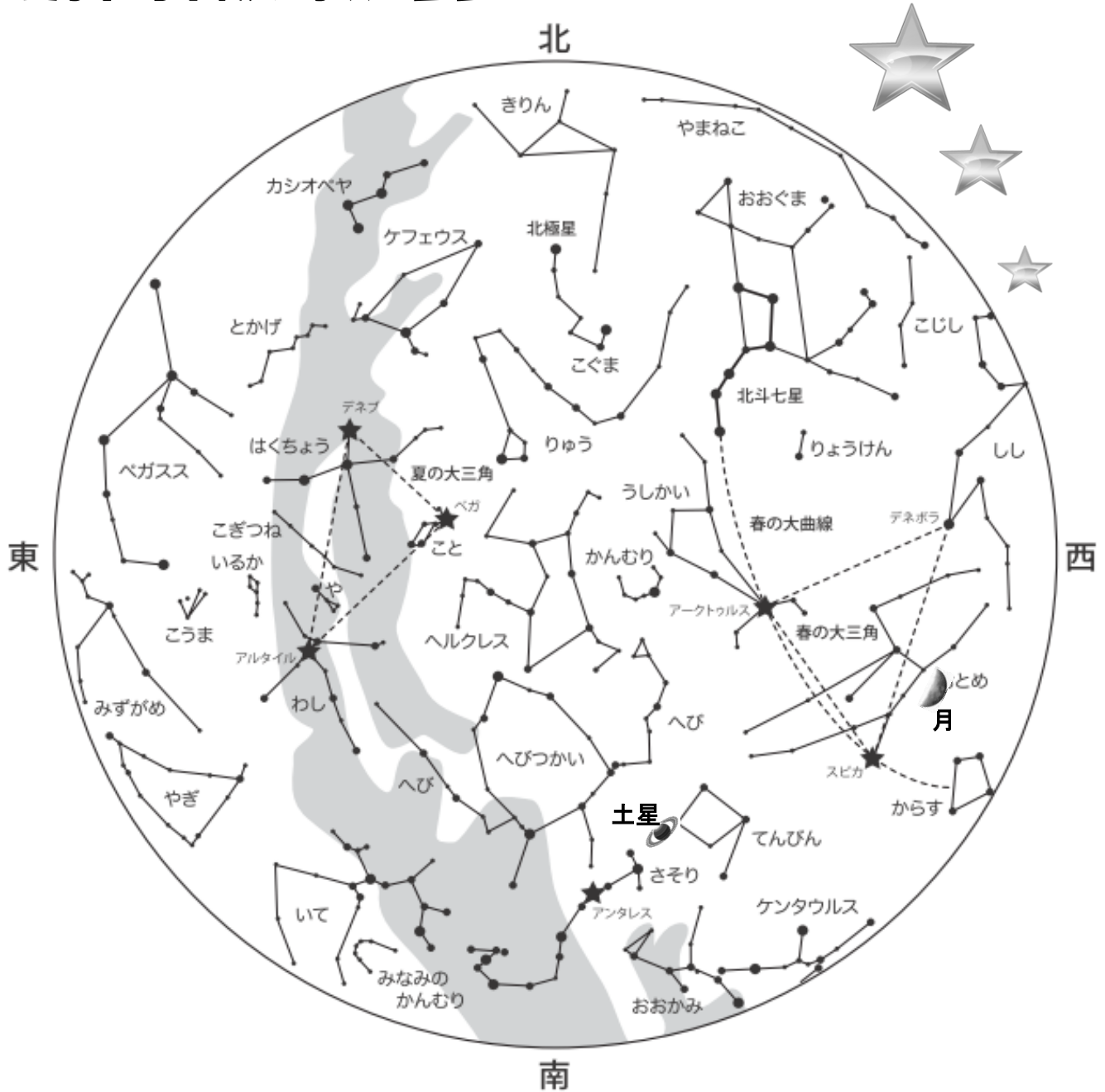


松江市立天文台～7月の天文教室～

7月下旬午後9時頃の星空～

平成27年 7月22日



いよいよ梅雨明け、星を見るのに絶好の季節がやってきました。

日が暮れてくると西の空には、金星と木星が明るく見えています、この二つの惑星は来月になると見ることができなくなります。

すっかり暗くなる頃には、夏の星座が夜空を飾るなかで、さそり座のアンタレスのそばでひとときわ輝く土星に注目です。これから9月の始めにかけて、美しい輪のある姿が見られます。

7月下旬午後9時頃の星空です。

月、土星の位置は7月22日現在のものです。

各天体の見かけの大きさは強調してあります。

この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

今夜の月

今夜の月は月齢6、半月の少し手前です。

月は地球の衛星で、その大きさは直径約3千475km、地球からの距離は約38万4千400kmです。

月は、表面の地形が肉眼でも見える唯一の天体ですが、望遠鏡で見ると、クレーターのあるダイナミックな地形を楽しめます。



土星

土星は、私たち地球と同じく太陽を中心に回る惑星で、その大きさは、直径約12万キロ(地球の約9.5倍)、美しいリングを持っています。

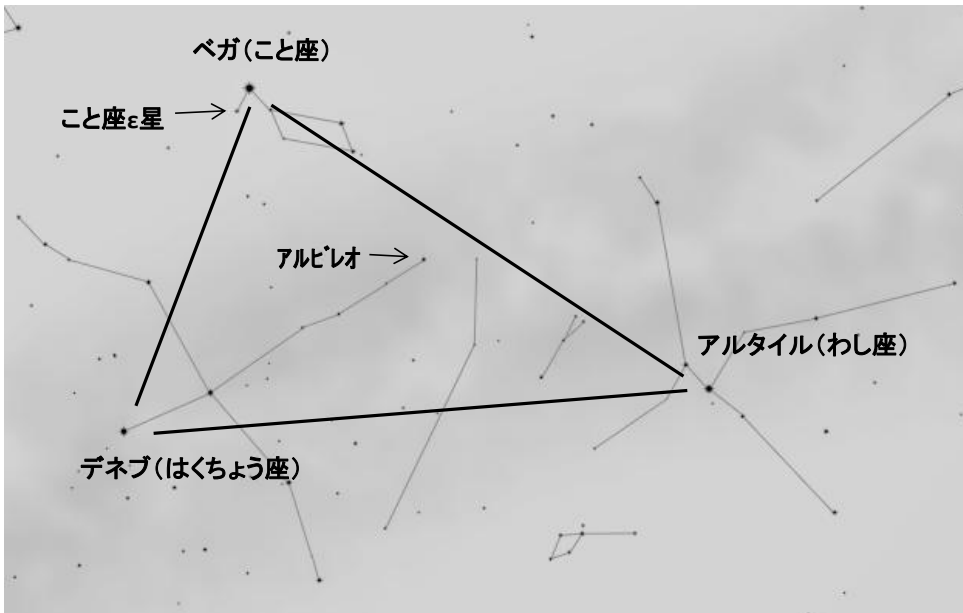
リングの正体は、数mmから数10cmの氷や岩石で、リングの厚さは数百mと言われています。

この夏は、てんびん座とさそり座の間で、リングを広げた美しい姿を見せてくれます。

すこし離れて土星最大の衛星タイタンも見られます。



夏の大三角



夏の大三角は、夏を代表する三つの一等星が作る三角形です。

こと座のベガは七夕のおり姫星、わし座のアルタイルは彦星

夏の大三角の二重星

○アルビレオ

はくちょう座にある代表的な二重星で、オレンジ色と、青色の対比が美しく、空の宝石とも呼ばれます。

○こと座ε(イpsilon)星

双眼鏡で二つの星に見え、望遠鏡で見ると、さらに二つずつに分かれて、全部で4つの星に見えます。

特報！！ 8月はペルセウス流星群に注目

8月の13日頃に、たくさんの流れ星が観察できるペルセウス流星群が見られます。

明け方に、空の開けた場所で寝ころんで観察すると、1時間に数十個の流れ星がみられるかも？！

資料のデータは天文年鑑、アストロアーツから引用しています。
使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。
また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。

次回の天文教室

開催日 8月19日(水) 20時から21時まで
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)
事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club
松江星の会